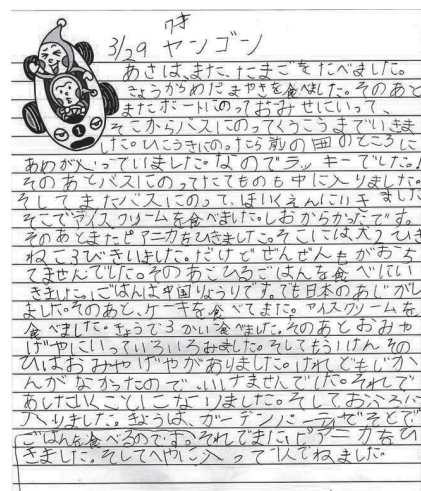




3月30日

午前、シュエダゴンパゴダ参詣。
ヤンゴンに来たら是非ともお参りに行
かなければならない場所、シュエダゴ
ンパゴダに全員で参詣。金色に輝くパ
ゴダを皆でお参りした。
そして、在ミャンマー日本大使館訪問



ミャンマー教育省へのピアノカ寄贈
の報告を含めて在ミャンマー日本大
使館を訪問し、約1時間にわたって、
駐ミャンマー日本国特命全権大使
樋口建史大使とお話をした。
午後、解団式。
スタディーツアーの全日程が終了。今
回は一人も体調を崩す人もなく、無事
にツアーを終えることができた。最後
は、ヤンゴン市内北部にあるスーパ
ー銭湯で汗を流して、帰国用の服に着
替えてミャンマーでの最後の食事。ツ

日本ミャンマー豊友会の日頃の活動は Facebook をご覧下さい【<https://www.facebook.com/JAMAHA.jp>】

参加者募集

第22回 ミャンマースタディーツアー

【11月27日から12月3日ごろ予定】

詳細はFacebookまたは、ホームページをご覧ください。



〒442-0826 愛知県豊川市牛久保町城下 73 番地 (大木産業株式会社内)
Tel. 0533-85-3358 Fax. 0533-85-4986 e-mail • jamahajapan@gmail.com
<http://www.hoyukai.com/myanmar>
Facebook • <https://www.facebook.com/JAMAHA.jp>



JAMAHA NEWS

JAPAN & MYANMAR ASPIRATION HOYU ASSOCIATION

2015.6 vol.6

日本ミャンマー豊友会

将来の子供たちが共存共生のできる豊かで平和な世界へ



新しいステージに向けて

今季は活動開始から10年目になりました。認定法人の資格をいただきました。昨年、ミャンマー政府からもINGOの資格を付与されました。

少し昨季の活動報告をさせていただきましたと、3月の第21回のスタディーツアーが、従来になくユニークで、16名中半数が女性、18歳以下の青年並びに子供が3人でした。また中部楽器技術専門学校様のご協力により、ピアノカをミャンマー文部省に330台寄贈の目録をお持ちしました。2017年から開始される音楽教育、その先生方の基礎素養として活用していただく為にお送りしたものです。現在300台は船積み待ちとなっています。

今季のミャンマーは、総選挙並びに大統領選、ASEAN統一のいっそうの強化が政治的課題としてあります。そうした中での私どもの活動方針

は大きくいつて次の3つが柱となります。

①繋がる
日緬両国で多くの方々や組織とこの間交流してきました。「袖すり合うも多少の縁」ではありませんが、みなさん方の力を結集させてゆく方向をとってゆきたいと思います。

②広げる
この10年、主に豊友会のみなさんのおかげで、経済的になんとかやってこられました。MOU(私ども日本ミャンマー豊友会とミャンマー政府の機関との覚書)を念頭に置くと、日本の公的機関や、好意的な団体からご支援をいただきたいと考えております。また新しい募金方法等を研究し、幅広いの皆様をお願いしてゆかなければなりません。

ればなりません。

③深める
保育園寄贈も建物のみならず、ソフト面の充実を目指してゆきます。社会的に広がる運動体としてチャレンジし、お客様や社員さんを巻き込み、交流を重点に置くような活動に変化させます。

これまでのご支援に感謝申し上げますとともに、皆様のいっそうのご協力をお願いいたします。

昨季の特記すべき事項としては、倉内商工グループによる、尼寺への浄水器の寄贈が挙げられる。周辺の村人約2000名の人々に恩恵が及んだ。今期はインレイ湖周辺の村でゴミ焼却炉の寄贈計画が進行中である。

第21回 ミャンマースタディツアー[2015年3月25日 ▶ 30日] レポート

スタディツアーは、JAMAHが支援を行っているさまざまな事業の見学をしていただくツアーです。そして、現地の方々との交流を深めていくことでJAMAHの活動を体験としてご理解いただくものです。今回は、春休みということもあって小学生の方もご参加いただきました。



今日から第21回ミャンマースタディツアーがスタートです。

これから、参集地のネピドーにバスで向かいます。6時間のバス旅です。



ソマ料理を堪能。

の中間地点で、休憩と昼食。初のミヤ

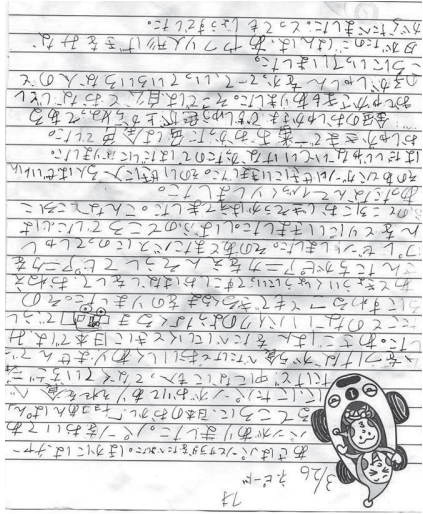
ネピドーに到着。ホテルチェックイン。バスコクからの飛行機組到着まで一休み。



ミャンマースタディツアー開始。ネピドー空港に飛行機組が到着。全員で夕食を取りながら結団式。

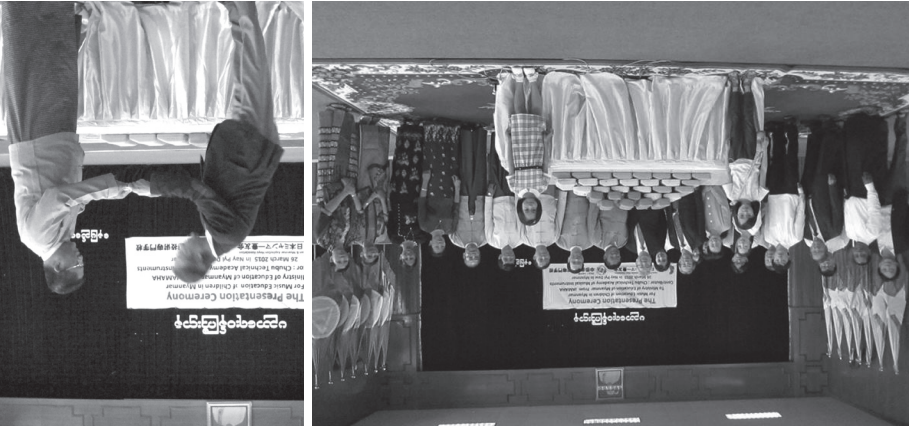


ミャンマー国首都ネピドーの教育省にてピアノニカ(330台)贈呈式。



早朝、バガンのニヤウンウー空港からハーパー空港へ飛行機で移動。

JAMAHの支援者の(機)クリエイト西武様及びその代表取締役 向 久雄様のご支援により、保育園のない村に保



保育園が誕生。新しい歴史が歩み始めました。これで、JAMAHがミャンマーで支援した保育園は、8園となった。

式典当日は、村中総出で我々の到着を歓迎してくれました。

JAMAHからもピアノニカを持参し、小学生と専門学校生の4人で、ミヤン

マーと日本の国歌などを演奏披露しました。ここで保育された子供達の将来

が楽しみです。

パオでの次期支援保育園選考のため、初めての次回支援

保育園の選考のプレゼンテーションを開催。パオが関係する保育園を必要とする3つの村から発表を行って頂

いた。ツアー参加者は各村の発表と質疑応答での生の声を聴いて、感慨

深く感じられたようであった。

尚、今回は、多くの村が保育園を必要

としていることは推測できるが、プレゼンの時間の制約のあるなか、その



校って発表を頂いた。

3月27日、28日のインレーでのホテル

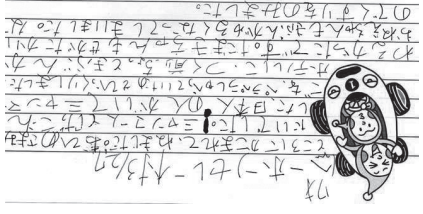
滞在。今回は、2泊3日でインレー湖の北東岸に位置するインレーリゾート・

スパ&ホテルに宿泊した。豪華な夕食やビュッフェ形式の朝食で少し優雅

な食事を堪能した。また、28日の夕食では、3月生まれのお二人のお誕生祝

い。は、ホテルに特別にお願いをして作

校って頂いた。



午前インレー湖観光。湖上スラストン

というだけあって、ホテルには船着き場があつて、ここからボートでインレ

湖に船出。湖上のフアウンポー寺院や織物や工芸細工の工房などを見

学。昼食は、湖上のスラストンでイン

レーンでお腹を満たした。

午後、スインタウツ孤児院訪問。木工

作業の職業訓練等を支援しているス

インタウツ孤児院を訪問し、子供達と

一時のふれ合い。子供達にピアノニカの演奏のプレゼント、ピアノニカの弾き

方の指導や折り紙を一緒に行った。



午前、ウイタカカ尼僧院訪問。ウイタカ尼僧院は、ヤンゴン市内より東方に位置し、JAMAHがミャンマーへの支援を開始した時の最初の施設である。今回は、高校生への奨学金の贈呈とピアノニカの贈呈及び演奏の方法を指導するために訪問。子供達と楽しい一時を過ごすことができた。

最後に子供達が私たちのツアーの安全とこれから幸せのために祈ってく

れた。

夕方知人宅でのガーデンパーティ。JAMAHがミャンマーでの活動を最初から援助して頂いている恩人が私達をご自宅でのガーデンパーティに招待して頂き、楽しい一時を分かち合った。また、このツアー中、色々なところで披露してくれた4人の美少女のピアノニカ演奏もこのガーデンパーティが最後のステージ。4人は思い残すことなく、ミャンマーの大地でピアノニカ



音を響かせたと思う。

